



いせまがし

父・ジャワ・幻のフィルム

語られなかった声に、耳を澄ませてみたい。

父をいとおしむ気持ちを含めながら

あの戦争の時代の「真実」を描くドキュメンタリーは可能だろうか

(監督・伊勢真一)



伊勢真一監督作品 2021年/カラー/88分 製作:いせフィルム <https://www.isefilm.com>
映画の街「北九州」で、映画館と大学と地域での共同上映が実現しました。
これからもこうした機会を増やし、映画鑑賞の裾野を広げていきたいと考えています。

日本・インドネシア・オランダ—— 亡き父を想う旅で辿り着いた“戦争”の真実。

戦時中、日本はアジア各地を占領し植民地解放を謳った。記録映画編集者・伊勢長之助(1912~1973)は、「文化戦線」の一員としてインドネシアに渡り、大東亜共栄圏という名目でプロパガンダ映画を創った。長之助の長男・伊勢真一(ドキュメンタリー映像作家)は、父たちがどんな思いで国策映画を手がけたのかを知るために、30年程前から取材を始める。父の足跡と父たちが創った“幻のフィルム”の行方を追う長い旅。

やがて、その旅に伊勢真一の長男・伊勢朋矢(ディレクター)、長女・伊勢佳世(俳優)も参加する。父から子へ、そして孫へ、時代の記憶が手渡されていく。

オランダで発見されたその国策映画は、およそ130本。日本未公開の貴重なフィルムである(『隣組』『東亜のよい子供』『防衛義勇軍』『ロームシャ』『マラリア撲滅』等)。

伊勢 長之助(記録映画 構成・編集者)

1942年(昭和17年)、報道班員としてジャワ(インドネシア)に出征。国策映画を日映ジャワ支局の中心スタッフとして終戦まで創り続けた。『カラコルム(1956年)』『黒部峡谷(1957年)』『南極大陸(1957年)』『ミクロの世界』『日本万国博』など、戦後の記録映画の名作を構成・編集、『佐久間ダム(高村武次監督・岩波映画・1955年)』で日本映画技術賞を受賞。その豊富な経験と卓抜した技術によって『編集の神様』とも称され、日本のドキュメンタリー映画に多大な影響をのこした。

伊勢 真一(ドキュメンタリー映像作家)

1949年東京生まれ。日常をふんわりと映し出す映像の中に生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。『奈緒ちゃん』(1995年)『えんとこ』(1999年)をはじめ長年にわたり数多くのヒューマンドキュメンタリーを自主製作・自主上映で創り続けている。近作は『えんとこの歌ー寝たきり歌人・遠藤 滋』(2019年)で毎日映画コンクール・ドキュメンタリー賞、文化庁映画賞を受賞した。

いまはむかし
父・ジャワ・幻のフィルム

語られなかった声に、耳を澄ませてみたい。 そうして、記憶に触れてみたい。

私が三才の頃、父は家を出た。ちょうどその頃の写真が手元にある。私が父と写っている、たった一枚の写真・・・父は、遠くを見るような眼差しで、何かを考えている。幼い私は、ただじっとこちらを見ている。

「真一」という、ちょっと気恥ずかしい私の名前は、戦時中、ジャワ(インドネシア)で国策映画を創っていた父が、もう二度と戦争をしてはならない、という思いで名付けたもののような気がしている。

写真の中の幼い私が、
じっと今の私を見つめている。
「いまは むかし むかしは いま」

記録というよりも、記憶。
語られなかったその声に、耳を澄ませて
みたい。
そうして、記憶に触れてみたい。

父をいとおしむ気持ちを込めながら、
あの戦争の時代の「真実」を描く
ドキュメンタリーは可能だろうか・・・
(かんとく・伊勢真一)

出演：伊勢長之助 伊勢真一 伊勢佳世
カディルマン ロシハン・アンワール
ジャカルタの人々
題字：細谷亮太
語り：伊勢佳世
撮影：石倉隆二 水野宏重 伊勢朋矢 内藤雅行
世良隆浩 康宇政
録音：田辺公一
音響：渡辺丈彦
編集：尾尻弘一
テーマ曲：「ブンガワン・ソロ」
チェロ：菅原雄大
コーディネーター：坂尾康子
翻訳：高地薫

宣伝・デザイン：森岡寛貴
デザインディレクター：遠藤郁美
製作・上映デスク：相原余至子 増馬則子 今井亜矢子 土元愛
協力：倉沢愛子 岡田秀則 相良次雄 小野耕世
一陽社 シネマ サウンドワークス JapanDocs
インドネシア国立映画製作所 インドネシア国立アーカイブ
オランダ視聴覚研究所
資料協力：国立映画アーカイブ
東京国立近代美術館フィルムセンター
「海外に残存する戦前期の日本映画に関する調査研究
日本占領下インドネシア地域における映画製作」報告書
映像協力：WOWOW テレコムスタッフ
企画製作：いせフィルム
演：伊勢真一

【お問い合わせ】いせフィルム www.isefilm.com 〒150-0002 渋谷区渋谷1-9-4 トーカン渋谷キャステール406
TEL:03-3406-9455 FAX:03-3406-9460 E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp

5月13日 [北方シネマ]
日(金) 18:00
北九州市小倉南区北方 4-2-1
北九州市立大学 A-101
080-6458-1184
伊勢真一監督
による講演あり

5月14日 [小倉昭和館]
日(土) 10:00
北九州市小倉北区魚町 42-9
093-551-4938
伊勢真一監督
による講演あり

5月22日 [上津役シネマ]
日(日) 10:30
13:30
株式会社ニッサブ 2F 夢宙空間ホール
北九州市八幡西区上上津役 4-22-2
090-8407-9785

映画鑑賞料：前売 1000 円 | 当日一般 1200 円 | シニア・障害者 1000 円 | 大学・高校生 500 円 | 中学生以下無料

